

としょかん つうしん

7月号



7月のテーマは「外遊び・スポーツ」です。梅雨があけて外に飛び出したい子どもたちの気持ちにそった絵本を選びました。

年少くらいから



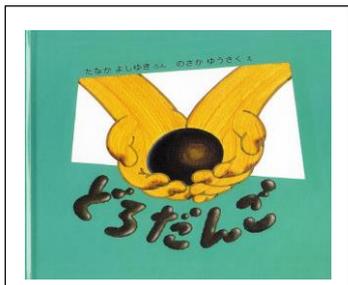
『かげはどこ』

木坂涼ぶん 辻恵子え 福音館書店

私たちの「かげ」は伸びたり縮んだりして、どこへ行くにもついてきます。それでは「かげ」は、水の中ではどうなるのでしょうか。階段を昇る時はどんな形になるでしょう。

この絵本を読んだら早速、自分の「かげ」で試してみたくありませんか。普段見ることが少ない「かげ」をじっくり見てみませんか。

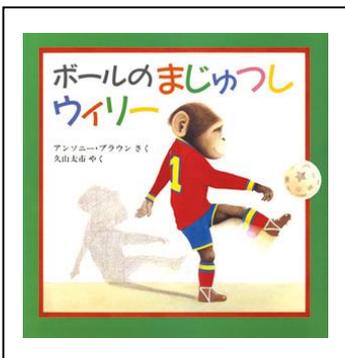
年中くらいから



『どろだんご』

たなかよしゆきぶん のさかゆうさくえ 福音館書店
「どろだんご」って知っていますか。「どろだんご」はまず土をどろどろにして団子を作ります。硬い団子にするにはちょっとしたコツが必要で、ぴかぴか光る「どろだんご」になると坂から転がしてもこわれません。子どもたちが小さい手で泥をこねて「どろだんご」を作り、遊ぶ様子がわかりやすく楽しく描かれている絵本です。

年長くらいから



『ボールのまじゅつしウィリー』

アンソニー・ブラウン さく 久山太市さく 評論社
ある日、ウィリーはふしぎな男の子から古ぼけたサッカーシューズをもらいます。そのシューズをはいて練習をすると、なんとウィリーは選手に選ばれました。でも試合当日、大切なサッカーシューズを忘れてきてしまいます。すっかり自信がなくなって試合にのぞんだウィリーですが・・・。ゴリラのウィリーの成長がたくましい絵本。

※対象は目安です。対象以外のお子さまでも楽しめます。

同様のもの、過去のものを取手市立図書館のホームページ上でも公開しています。

[おすすめえほん](#) [取手市立図書館](#)で検索